

製品名: リン酸化 Chk2 (Thr68) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab03382

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 61 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CHEK2 |
| 別名 | CHEK2; CDS1; CHK2; RAD53; Serine/threonine-protein kinase Chk2; CHK2 checkpoint homolog; Cds1 homolog; Hucds1; hCds1; Checkpoint kinase 2 |
| 遺伝子 ID | 11200 |
| SwissProt ID | O96017 |
| 免疫原 | 抗血清は、Thr68 のリン酸化部位周辺のヒト Chk2 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 35-84 |

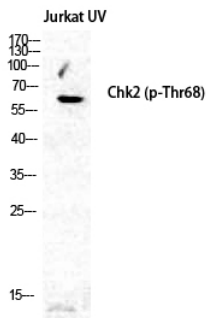
背景

これらは ATM/ATR キナーゼによるリン酸化に優先的に作用することが知られています。電離放射線（IR）、紫外線照射、またはヒドロキシウレア処理による DNA 損傷後、この領域の Thr68 をはじめとする部位が ATM/ATR によってリン酸化されます。したがって、SQ/TQ クラスタードメインは制御機能を有していると考えられます。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



UV 溶解物で処理した Jurkat の Phospho-Chk2 (Thr68) 抗体を使用したウェスタンブロット分析。